

内装古壁リフォーム用  
速乾タイプのアク・シミ止め機能付き下地調整材

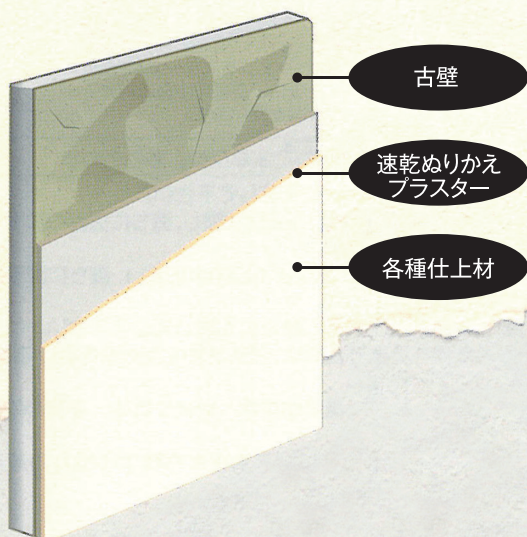
F☆☆☆☆

|              |   |
|--------------|---|
| 日本建築仕上材工業会登録 |   |
| 登録番号         | 0304007   |
| 放散等級<br>区分表示 | F☆☆☆☆   |
| 問合せ先         | <a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a> |

# 速乾ぬりかえ 速 プラスター



- **速乾タイプ**なので、時間のロスが少なく、ぬりかえ作業もはかどります!



関西パテ化工株式会社

## 用途・特徴

- 内装古壁リフォーム用、薄塗り速乾タイプのアク・シミ止め機能付き下地調整材です。
- 速乾タイプなので時間のロスが少なく、作業がはかどります。
- アク・シミ止め機能付きなので、古壁に直接施工できます。
- 薄塗りで伸びが良く、スムーズに作業ができます。
- フラットな下地に仕上がるので、上塗り材も塗りやすいです。

## 適応下地

- 内装古壁・けいそう壁・繊維壁・聚楽壁・砂壁など(いずれも塗り面がしっかりとれていること。)(※漆喰など強アルカリ性の壁は施工できません。)

## 適応仕上材

- けいそう壁・繊維壁・聚楽壁・砂壁など(※漆喰など強アルカリ性の壁は施工できません。)

## 施工方法

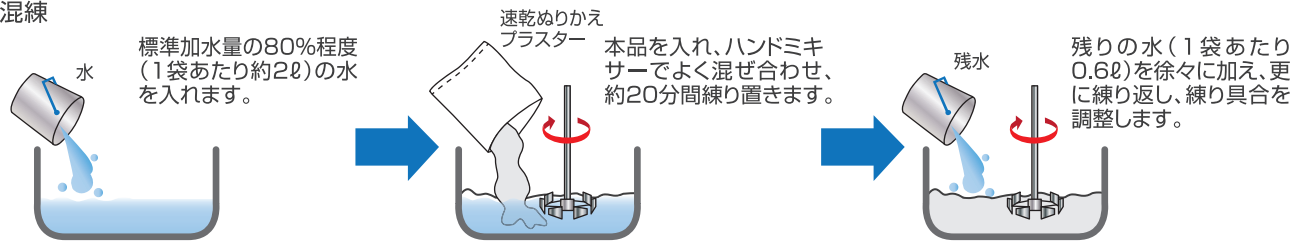
- 事前確認

### 確認! 古壁リフォーム確認事項

- ※古壁の状態を事前に現場確認し、施工可能か判断することが重要です。改修不可能と判断した場合は古壁を剥がし、下地から作り直すことを検討して下さい。
- ▼古壁の種類を確認します。  
(※古壁が漆喰など強アルカリ性の場合は、当社製品「白壁用めりかえプラスター」をご使用ください。)
  - ▼古壁自体の強度を確認します。
  - ▼ホコリ・その他付着物は乾拭き清掃し、除去します。(柱・巾木などのチリ際も清掃します。)
  - ▼アク・シミ汚れがひどい場合は「P-プライマー」で全面シーラー処理します。
  - ▼油が付着していると接着しませんので、完全に除去して下さい。
  - ▼凹部は平らに調整しておきます。
  - ▼カビがある場合、市販のカビ除去剤で除去します。また、サビの出る恐れのある箇所はサビ止めを施します。
  - ▼全面剥離のおそれのある壁は「ハクリンA」又は「ハクリンB」で全面を剥がします。
  - ▼ポロポロ落ちる程度の弱さがある場合は「カタメルボンド」で補強し、完全に乾燥させます。

| 標準仕様  |             |
|-------|-------------|
| 品名    | 速乾めりかえプラスター |
| 用途    | 内装用古壁下地調整材  |
| 主成分   | 砂・土         |
| 接着剤   | 粉末樹脂配合      |
| 正味質量  | 6000g       |
| 標準加水量 | 2.6ℓ/袋      |
| 標準所要量 | 7㎡/袋        |
| 塗り厚   | 0.5~0.8mm   |
| 梱包    | 4袋/ケース      |

## 1 混練



## 2 作業の手順



**確認!** 古壁リフォーム確認事項の項目をチェックし、適宜の処理を行います。

薄くなりすぎないように、塗り厚に注意して「速乾めりかえプラスター」を塗付します。

「速乾めりかえプラスター」が完全に乾燥した後に、各種の上塗り材で仕上げ作業を行います。

## ご注意

- 塗り面はよく清掃し、塗付の際、ホコリ等を巻き込まないようにして下さい。
- 速乾性の為、チリ養生に注意して下さい。また柱や窓枠等に付着した場合は速やかに除去して下さい。
- 水分が残ったまま上塗りをかけると、ピンホールの原因となったり、アクが浮くことがありますので、よく乾燥させて下さい。
- 薄塗りしすぎるとアクが浮くことがあります。塗り厚には注意して下さい。
- 繊維壁など、凹凸が大きい場合、一度に厚付け過ぎると亀裂の原因になりますので、二度塗りするなど、下地に合わせて厚みを調整して下さい。
- 他の骨材やボンドと併用しないで下さい。
- 乾燥後、アク・シミが浮いて見える場合は、もう一度塗り重ねて下さい。

## 販売店・施工者様へのご注意及び、おことわり

- ・子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・目に入った場合は、水で最低15分間洗眼し、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ・肌に付着した場合は、水と石鹸でよく洗い流して下さい。
- ・施工時から乾燥するまでの間は、湿気を除くため窓を開ける等、換気を行って下さい。
- ・空容器等の処理は、産業廃棄物業者に依頼する等、適宜の処理をして下さい。
- ・残材は、下水・河川・池・井戸・地下水等を汚染する恐れのある場所には廃棄しないで下さい。
- ・他の製品・ボンド等と混合しないで下さい。
- ・ロットにより多少の色違いを生じる事があります。

